

(基本目標3) 多様で豊かな自然の恵みを次世代へつなげるまち

1. 生物多様性の保全・向上

1-1 希少動植物の保護

(ア) コシガヤホシクサ野生復帰事業

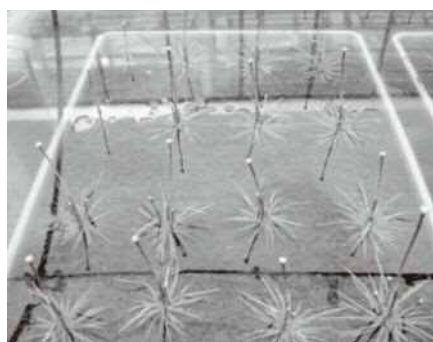
コシガヤホシクサは昭和 13 年に旧越ヶ谷町の元荒川付近で発見され、翌年新種のホシクサとして発表されました。このとき、発見地にちなんでコシガヤホシクサと命名されましたが、その後越谷市周辺では見られなくなりました。昭和 50 年には、茨城県下妻市の砂沼という農業用のため池で再発見されましたが、ため池の環境の変化により平成 6 年に絶滅してしまいました。しかし、残されていた種子から、国立科学博物館筑波実験植物園などの関係機関により、現在は砂沼での野生復帰の取り組みが進められています。

市では、「越谷」の名を持つ貴重な植物であるコシガヤホシクサを越谷で野生復帰させる取り組みを進めています。平成 23 年から、国立科学博物館筑波実験植物園から種子の提供や技術指導を受け、農業技術センターにおいて種子増殖のための栽培を行っています。また、専門家や関係機関との検討・協議を進め、かつてコシガヤホシクサが発見されたと考えられる葛西用水路で播種実験を行い、野生復帰に必要となる生育条件を調査しています。

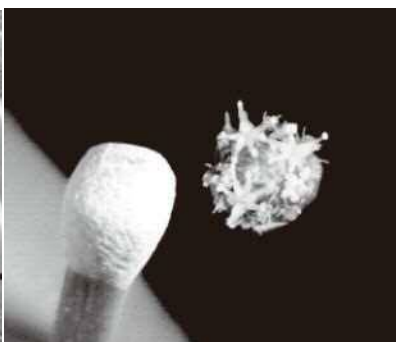
野生復帰事業の経過

年度	概 要	栽培の概要			播種実験の概要	
		播種数	回収種子数	特別展示	播種数	試験区
23	栽培の開始	5 千粒	45 万粒	1 ケ所		
24	野生復帰検討会議の設置	6 万粒	136 万粒	1 ケ所		
25	野生復帰候補地環境調査 野生復帰技術開発計画策定	3 万粒	65.9 万粒	7 ケ所		
26	葛西用水での播種実験開始	3 万粒	140 万粒	9 ケ所	21 万粒	4 ケ所・31 m ²
27	中学校との協力事業開始(中央中・東中)	3 万粒	184 万粒	9 ケ所	120 万粒	12 ケ所・64 m ²
28	葛西用水に見本園を設置し、開花に至る	3.3 万粒	144.3 万粒	7 ケ所	174 万粒	5 ケ所・47.7 m ²

※種子の数は概数



農業技術センター内で栽培されているコシガヤホシクサ



葛西用水での播種実験

(イ) シラコバト保護事業

シラコバトは、昭和 31 年に「越ヶ谷のシラコバト」として国の天然記念物に、昭和 40 年に「県民の鳥」に、昭和 63 年には「市の鳥」に指定され、多くの市民に親しまれてきました。しかしながら、市街化によるねぐら・営巣地となる屋敷林の減少、主要な採餌場所となる耕作地や畜舎の減少、畜舎への侵入遮断などによりその生息数が激減しています。

市では、埼玉県に協力し、シラコバトの生態に詳しい専門家、シラコバトを飼育している動物園、関係行政機関等とシラコバト保護対策検討会議に参加するとともに、平成 26 年 3 月に策定された「埼玉県シラコバト保護計画」に基づき、保護事業を実施しています。キャンベルタウン野鳥の森では、平成 20 年よりシラコバトの保護

増殖を行っており、平成26年10月に市内で初めて飼育増殖に成功しています。平成28年度はさらに3羽増え、飼育数は17羽となっています。また、平成27年度には埼玉県補助金を活用し、シラコバト保護増殖施設(木造平屋建て26.44 m²)を整備しています。



野鳥の森で初めて孵化したヒナ



シラコバト保護増殖施設

(ウ)キタミソウ保全事業

キタミソウは、北海道の北見地方で発見され、その名がついたと言われています。越谷市内では、昭和25年に発見され、その後絶滅したとされていましたが、昭和53年にト沢氏によって、市内の葛西用水で再発見されました。一年草で種子により繁殖し、花は非常に小さく1～2mm程度の白色、葉はスプーン型の長楕円形で柄を含めて2cm程度です。越谷では、用水の水が落ちた後の湿った川底で成育し10～12月と3～4月に花が見られます。市内では、葛西用水と古利根川に生育していますが、中でも、越谷市役所前の葛西用水路瓦曽根溜井に多く見られます。



キタミソウ

キタミソウの自生地は、行田市、春日部市、岩槻区、草加市等でも確認されていますが、その中でも、葛西用水路瓦曽根溜井は、最大の自生地になっています。埼玉県レッドリストでは、野生での絶滅の危険性が高い、絶滅危惧ⅠB類に分類されています。

平成12年度には「埼玉県希少野生動植物の種の保護に関する条例」に基づく「県内希少野生動植物」に第1次指定され、捕獲や採取する場合はあらかじめ県への届出が必要となっています。また、葛西用水路瓦曽根溜井では毎年、市民団体により「キタミソウ観察会&クリーン作戦」が行われています。

(エ)フジバカマ保全事業

フジバカマは、秋の七草の1つに数えられ、河川敷などの明るく湿った草地に生育する多年草です。近年、湿地の埋め立てや河川敷の開発などで生育地が激減し、埼玉県レッドリストでは、準絶滅危惧種に指定されています。市内では元荒川河川敷の一部に自生地がありますが、その他に、自生地付近の公園の保護ゾーンにおける保全作業の実施、市内の小学校での保全事業等が行なわれています。



フジバカマ

(ウ) 特定外来生物

特定外来生物とは、生態系、人の生命・身体、農林水産業に被害を及ぼすおそれがあるため、「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律(外来生物法)」により指定された外来生物のことで、飼養、栽培等が規制されております。越谷市内では下記の特特定外来生物の目撃情報が寄せられております。

また、近隣市町では平成 26 年度に特定外来生物であるセアカゴケグモの目撃情報が寄せられ、駆除を行っております。

越谷市内で目撃情報のあった特定外来生物(過去5年間)

植物(4種)	魚類(4種)	哺乳類(1種)
オオキンケイギク	カダヤシ	アライグマ
アレチウリ	オオクチバス	両生類(1種)
オオフサモ	アメリカナマズ	ウシガエル
ミズヒマワリ	ブルーギル	爬虫類(1種)
		カミツキガメ

1-3 ふるさといきもの調査

越谷市では、市内のいきものの生息状況から見た越谷の自然環境の現状を把握することを目的に、市民調査員の協力により、平成9年度から5年ごとに「越谷市ふるさといきもの調査」を実施しています。

越谷市ふるさといきもの調査による指標生物発見報告状況

指標生物名称	平成24年度		平成19年度		平成14年度		平成9年度	
	報告メッシュ数	発見報告総数	報告メッシュ数	発見報告総数	報告メッシュ数	発見報告総数	報告メッシュ数	発見報告総数
1、在来タンポポ	232	485	261	592	153	324	153	307
2、セイヨウタンポポ	328	913	346	1085	341	965	404	1146
3、セイタカアワダチソウ	256	702	312	812	321	713	291	666
4、カントウヨメナ	131	300	167	395	224	471	192	406
5、キタミソウ	13	27	22	50	19	42	35	74
6、スミレ	110	209	91	239	—	—	—	—
7、ミソソバ	45	116	69	220	74	129	76	133
8、ヨシ(アシ)	189	549	—	—	204	571	239	539
9、ジュズダマ	76	177	—	—	103	194	85	179
10、ハンノキ	70	190	133	324	87	263	112	337
11、ケヤキ	254	609	304	841	279	752	350	967
12、クヌギ	103	275	126	356	106	310	84	249
13、幹周リ2m以上の樹木	166	616	167	503	—	—	—	—
14、シラコバト	20	27	38	62	88	178	140	286
15、キジバト	456	1874	329	1488	288	885	255	686
16、コサギ	260	910	218	773	172	448	171	345
17、カルガモ	271	1349	232	1337	181	700	150	497
18、カワセミ	87	380	41	125	—	—	—	—
19、コグラー	95	232	52	159	32	74	28	40
20、ツバメ	388	1241	292	970	246	607	195	445
21、ツバメの巣	109	220	101	228	72	118	68	145
22、ハクセキレイ	465	1949	321	1312	253	700	267	776
23、モズ	180	468	89	314	93	182	91	260
24、ツグミ	386	971	217	654	130	264	135	245
25、オオヨシキリ	105	292	78	243	54	107	33	58
26、シジュウカラ	300	1022	153	570	98	171	67	119
27、オナガ	261	795	177	489	145	296	127	232
28、モンシロチョウ	309	1041	280	879	315	807	253	636
29、スジグロシロチョウ	64	118	49	58	45	66	48	57
30、アオスジアゲハ	195	504	125	267	164	321	76	175
31、ナガサキアゲハ	54	95	—	—	—	—	—	—
32、ツマグロヒョウモン	178	426	—	—	—	—	—	—
33、コクワガタ	18	21	25	42	10	10	14	17
34、ヒグラシ	23	30	18	23	17	20	16	19
35、クマゼミ	24	38	14	16	—	—	—	—
36、オオカマキリ	63	117	41	71	40	58	43	89
37、シオカラトンボ	158	388	98	213	144	234	108	241
アサザ	—	—	7	12	—	—	—	—
ヨモギ	—	—	—	—	353	976	396	1075
クズ	—	—	—	—	140	264	143	297
セイヨウオオマルハナバチ	—	—	8	9	—	—	—	—
ミドリシジミ	—	—	—	—	6	7	10	13
アメンボ	—	—	—	—	89	213	81	146
ヘイケボタル	—	—	—	—	1	2	1	1
ハグロトンボ	—	—	20	44	—	—	—	—
合 計	6,442	19,676	5,021	15,775	5,087	12,442	4,937	11,903

2. 緑の保全・創造

2-1 (仮)平方自然観察公園

市内平方地内にある雑木林(平方 853-1 外、2440 m²)は平成 5 年度より土地所有者の厚意により借用し、自然観察林として活用していましたが、平成 24 年度に市が用地の取得を行い、市内では貴重な、まとまった樹林地として保全しています。

今後は、自然とのふれあいの場、環境学習の場として、さらに活用されるよう、林内の管理等を行います。



(仮)平方自然観察公園

2-2 こしがや緑のオアシス2020プロジェクト

緑のカーテンや生垣・緑の庭、屋敷林等の創造・維持管理をしていく活動の総称を「緑のオアシス」とし、市と学校・地域コミュニティ・事業者等が連携し、身近な取組から環境問題について考え、実践し、取組の輪を地域に広げていくことを目的とした事業です。平成 25 年度からスタートし、2020 年(平成 32 年)までに、「2020 のエコな取組」の実施を目標としています。平成 28 年度は、新方地区と川柳地区を重点取組地区とし、市民や小学校の協力により、ゴーヤの苗配布、こしがや緑のオアシスの募集・認定を行いました。

○小学生によるゴーヤの苗作りと配布

弥栄小学校と川柳小学校の児童に、ゴーヤの苗を育ててもらい、運動会に合わせて、地域の方々に配布しました。また、弥栄小学校で育てた苗の一部は学校の緑のカーテンになりました。

○緑のカーテン講習会

緑のカーテンを育て、緑のオアシスに応募して緑のすばらしさを地域に広めていただくため、専門家を講師に招き、「緑のカーテン講習会」を開催し、受講者 92 人にゴーヤの苗を配布しました。

○「こしがや緑のオアシス」の認定

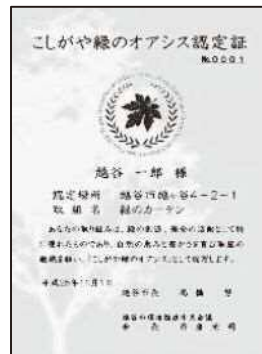
新方地区、川柳地区と「緑のカーテン講習会」受講者を中心に 7 月 1 日から 8 月 31 日までの期間に募集を行いました。地区コミュニティ推進協議会の協力と、越谷市環境推進市民会議(自然環境委員会)の推薦により多くの応募をいただき、審査の結果平成 28 年度は 64 件を「こしがや緑のオアシス」として認定しました。内訳は、緑のカーテン 36 件、緑の庭・生垣 12 件、屋敷林 16 件でした。



認定された緑のオアシスの写真

〇こしがや緑のオアシス認定式

「こしがや緑のオアシス」に認定された方に対し、平成29年2月19日に越谷市中央市民会館にて認定式を行いました。当日は、認定証と認定プレートをお渡しするとともに、弥栄小学校と各部門の代表者から取組の発表をしていただきました。なお、この催しは第13回越谷市環境大会のプログラムの一部として開催し、地域の緑の保全について認定者、市民、企業、関係団体、行政等の間で情報交換を行いました。



こしがや緑のオアシス認定プレート こしがや緑のオアシス認定証

「こしがや緑のオアシス」の認定件数（件）

年度	募集地区	協力校	緑のカフェ	緑の庭・生垣	屋敷林	その他	年度合計
25	大袋・大沢・蒲生	大袋東小・大沢北小・蒲生南小	17	14	1	2	34
26	桜井・北越谷 (緑のオアシスサーター)	平方小・北越谷小	82	13	7	2	104
27	荻島 (緑のカフェ講習会)	荻島小	45※ 44	8	12	1	66※ 65
28	新方・川柳 (緑のカフェ講習会)	弥栄小・川柳小	36	12	16	0	64
累計	8地区	8校	179	47	36	5	267

※平成25年度に認定されていた方が重複していたため訂正しています。

2-3 公共施設の屋上緑化

越谷市の一部の公共施設では屋上緑化を行い、夏の日射の軽減の推進を行っております。

屋上緑化の整備状況

整備年度	施設名	面積(㎡)	植栽の種類
13	本庁舎	66	ヘデラ・アジュガ・セダム
14	消防庁舎	89	マンネングサ(一部改修)
14	ゆりのき荘	600	マツバギク他
14	中央中	240	セダム・ラベンダー・シバ他
15	本庁舎	468	マンネングサ
18	城ノ上小学校	68.4	パンジー・ベコニア
19	リサイクルプラザ啓発棟	397	キチジョウソウ・ヒベリカム他
19	本庁舎(一部改修)	419	セダム(全体緑化面積 559 ㎡)
20	大相模地区センター	163	ヘデラ
21	消防署蒲生分署	36	ヘデラ
22	障害者就労訓練施設しらこぼと	362	シバ
23	本庁舎(一部改修)	272(改修)	ヒメツルソバ(全体面積 559 ㎡)
24	児童発達支援センター	211	シバ
26	保健所	237	クルマツツジ・サツキ・ドウダンツツジ・シバ

(基本目標4)潤いと安らぎがある、住み続けたいまち

1. 環境保全区域

越谷市環境条例第30条に基づく環境保全区域として、昭和62年3月に次の2箇所を指定しています。

○宮内庁埼玉鴨場周辺

宮内庁埼玉鴨場は、宮内庁が管理する鴨場で、現在は賓客の接遇の場として利用されています。埼玉鴨場の自然環境を中心に、周辺の大林寺の文化歴史環境、さらに隣接の北越谷第五公園、元荒川河畔を含めた区域約17.8haが、「市民に憩いと安らぎを与える水辺及び緑などの優れた自然環境が形成されている区域」として指定されています。

地区	所在地	面積(m ²)
宮内庁埼玉鴨場	大林1番地外217筆	※99,154
大林寺	大林29-1外2筆	1,957
北越谷第五公園	北越谷五丁目482番地	15,170
元荒川河畔	隣接する河畔約880m	約62,000

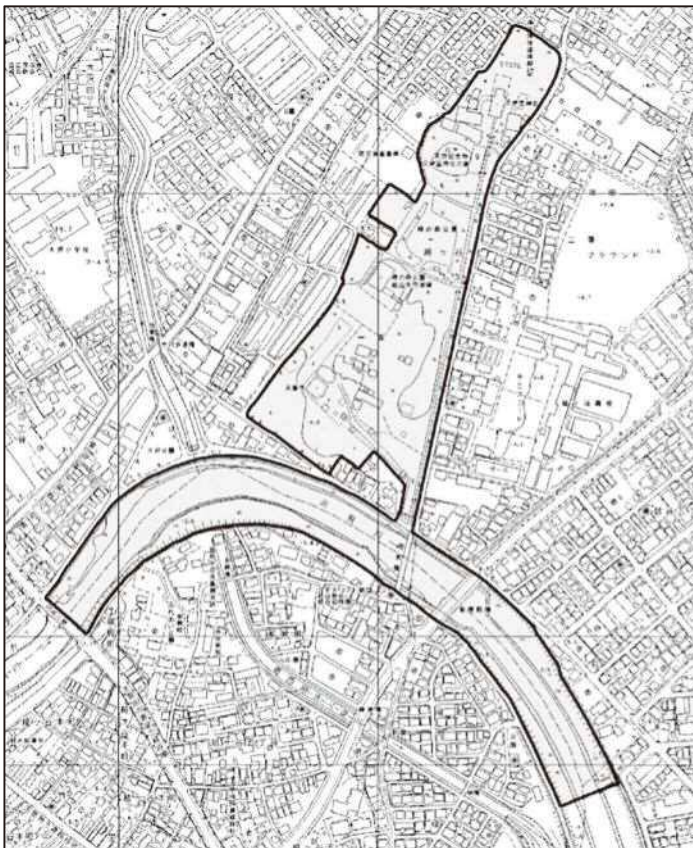
※公簿上の面積の合計。宮内庁埼玉鴨場面積は約11.6haとされていますが、環境保全区域では公簿面積を区域面積としています。



○越ヶ谷久伊豆神社周辺

越ヶ谷久伊豆神社と天嶽寺の文化歴史環境と、越ヶ谷久伊豆神社の社叢とアリタキ植物園(指定時はアリタキアーボレータム)の自然環境、さらに元荒川と緑の森公園(指定時は公園予定地)を含めた区域約8.5haが、「地域の歴史の変遷を知り、地域を特徴づけるうえで重要な社寺若しくは遺跡又は伝統的な家並みなど及びこれらの歴史的遺産と結びついた優れた景観を有する区域」として指定されています。

地区	所在地	面積(m ²)
越ヶ谷久伊豆神社	越ヶ谷1697番地外9筆	18,331
天嶽寺	越ヶ谷2549番地外24筆	24,107
越ヶ谷アリタキ植物園	越ヶ谷2562番地外17筆	8,121
緑の森公園外	越ヶ谷2579番地外31筆	10,815
元荒川河畔	隣接する河畔約370m	約24,000



2. 鳥獣保護区

埼玉県指定鳥獣保護区として、市内では2箇所が指定されています。鳥獣保護区とは、多様な鳥獣の生息環境を保全、管理及び整備することにより、鳥獣の保護繁殖を図ることを目的として、指定されたものであり、狩猟による鳥獣の捕獲等が禁止されています。また、越谷市全域が特定猟具使用禁止区域(銃)として指定されており、銃猟が禁止されています。

越谷市における鳥獣保護区

番号	名称	場所	面積 (ha)	期限	指定
27	越谷	宮内庁埼玉 鴨場周辺	145	29.10.31	昭 37
62	大吉	大吉調節池	10.3	36.10.31	平 16



3. 文化財・市の天然記念物等

越谷市には国重要文化財1件、国指定1件、県指定7件、市指定64件の計73件の指定文化財があります。そのうち天然記念物は国指定の越ヶ谷のシラコバト、県指定の久伊豆神社のフジなど、12件が指定され、市ではこれらの保護や維持管理に関する取り組みを支援しています。

市の天然記念物

指定区分	名 称	所在地	指定年月日
国	越ヶ谷のシラコバト	越谷市周辺	S31.1.14
県	久伊豆神社のフジ	越ヶ谷 1700	S16.3.31
市	林泉寺駒止のマキ	増林 3818	S42.1.11
市	ラクウショウ	越ヶ谷 2566	S42.1.11
市	有瀧家のタブノキ	中町 8-26	S42.1.11
市	大聖寺のタブノキ	相模町 6-442	S58.3.31
市	浅間神社のケヤキ	中町	S58.3.31
市	中村家のイチヨウ	東越谷	S58.3.31
市	聖徳寺のイチヨウ	北川崎 18	S59.9.27
市	森家のイチヨウ	平方	H1.3.31
市	田中家のクスノキ	川柳町	S62.1.29
市	中村家のクスノキ	大成町	S63.2.27

市の記念物(名勝)

指定区分	名 称	所在地	指定年月日
市	久伊豆神社 社叢	越ヶ谷 1700	S42.1.11

4. 景観

4-1 ポイ捨て・不法投棄の防止

各団体が行った清掃活動等により集められたごみや不法投棄物の収集・処理を行うとともに、ポイ捨て禁止及び飼い犬のふんの放置防止、不法投棄禁止の啓発看板を設置・配布することにより、地域の快適な生活環境を確保し、清潔できれいな街づくりの推進を図っています。

収集件数

	24 年度	25 年度	26 年度	27 年度	28 年度
自治会清掃件数	271	243	300	449	368
不法投棄件数	1,530	1,449	1,426	1,461	1,120

(基本目標5)市民みんなの協働で、だれもが環境保全に参加するまち

1. 環境教育

1-1 越谷生物多様性子ども調査

平成24年度から始まった越谷市独自の指標生物調査です。この調査では、子どもたちが学校やビオトープ周辺のトンボの生息状況を調べ、活動を通して越谷市の環境の現状について知り、調査結果を元に生きものにとってやさしいまちづくりについて考えます。平成28年度の調査では越谷市内の小学校で、トンボの成虫とヤゴ合わせて24種が確認されました。

各小学校におけるビオトープの整備状況

整備年度	改修年度	学校名	面積(m ²)
平成4	平成26	大袋東小学校	900
平成7	平成28	弥栄小学校	400
	平成28	東越谷小学校	400
平成8	平成28	南越谷小学校	800
平成9	平成24	川柳小学校	250
平成10	平成24	桜井小学校	200
平成11	平成24	西方小学校	300
	平成25	蒲生南小学校	200
平成12	平成25	花田小学校	450
平成13	平成25	大袋北小学校	300
平成15	平成26	千間台小学校	125
	平成26	桜井南小学校	—
平成16	平成27	新方小学校	450
平成19	平成27	城ノ上小学校	615
平成25	平成27	増林小学校	18

※上記に掲載のない小学校についても、コンテナ等を利用した簡易なビオトープが設置されています。

※小学校以外では平方地区に自然観察林が、大吉調節池には野鳥保護ゾーンが設置されています。また、大相模調節池には市民団体が管理を行っているビオトープが整備されています。

〇こしがや子どもトンボサミット

「越谷生物多様性子ども調査」に取り組んでいる市内小学生児童を対象に、調査結果の発表機会の拡大と地域の情報や特徴の共有を目的に「こしがや子どもトンボサミット」を開催しました。この催しは、イオンレイクタウンを会場に、毎年秋に開催される環境イベント「地球にいいことスクール」と合わせて開催し、作家のC.W.ニコル氏を招き、環境活動などについての対話も行いました。

日 時:平成28年10月28日(金)14:00~15:30

場 所:イオンレイクタウン kaze 翼の広場

参加校:越ヶ谷、東越谷、花田、増林、城ノ上、出羽、
南越谷、大間野、川柳、明正、蒲生 (11校)

※他の小学校については、平成29年度、平成30年度のサミットに参加予定



1-2 自然観察会・身近な生物調査

市では越谷市内に生息している生物の観察・調査や自然に親しんでもらうため、自然観察会等を開催しています。平成28年度は3回実施しました。

○大相模調節池生物調査

元荒川及び中川と接続されている大相模調節池に生息する生き物の観察のため、NPO 法人越谷ふるさとプロジェクトと市が主催し、埼玉東部漁業協同組合、埼玉県立川の博物館、(一社)越谷市観光協会、環境カウンセラー中西氏の協力により、水生生物調査を行いました。

日 時:平成28年5月14日(土)10:00～11:30

場 所:大相模調節池ビオトープ周辺

参加者:80名

観察した水生生物

【魚類】

No.	科名	種名	採集数	備考
1	コイ科	モツゴ	10	
2	スズキ科	スズキ	4	
3	ハゼ科	マハゼ	30	
4	コイ科	ゲンゴロウブナ	2	外来種
5	サンフィッシュ科	ブルーギル	4	特定外来生物
6	タイワンドジョウ科	カムルチー(ライギョ)	1	外来種
7	ハゼ科	ヌマチチブ	20	
8	ハゼ科	ヨシノボリ類	4	
9	ハゼ科	スミウキゴリ	2	
10	ウナギ科	ニホンウナギ	2	
11	ハゼ科	アシシロハゼ	1	

【甲殻類】

No.	科名	種名	採集数	備考
1	テナガエビ科	テナガエビ	多数	
2	テナガエビ科	スジエビ	多数	

【その他】

No.	科名	種名	採集数	備考
1	ヌマガメ科	ミシシippアカミミガメ	4	要注意外来生物
2	タニシ科	ヒメタニシ	1	



○新方川生物調査(第13回 ECO 勉強会)

河川に生息する生き物の観察や、新方川の環境保全のため環境推進市民会議、新方川をきれいにする会と市が主催し、埼玉東部漁業協同組合の協力により川ガキ養成事業として水生生物調査を行いました。

日 時:平成28年8月7日(日)10:00～11:00

場 所:新方川(向畑橋上流、弥栄小学校西)

参加者:37名

観察した水生生物

【魚類】

No.	科名	種名	採集数	備考
1	アメリカナマズ科	アメリカナマズ	1	特定外来生物
2	ナマズ科	ナマズ	1	
3	ウナギ科	ニホンウナギ	3	
4	コイ科	コイ	1	
5	スズキ科	スズキ	3	
6	コイ科	ギンブナ	1	
7	タイワンドジョウ科	カムルチー(ライギョ)	1	外来種
8	コイ科	モツゴ(クチボソ)	2	
9	ハゼ科	ヌマチチブ	2	
10	ハゼ科	マハゼ	1	
11	ハゼ科	ヨシノボリ	多数	

【甲殻類】

No.	科名	種名	採集数	備考
1	テナガエビ科	テナガエビ	多数	
2	テナガエビ科	スジエビ	多数	
3	ヌマエビ科	ヌマエビの一種	1	

○越谷アリタキ植物園 春の観察会(第14回 ECO 勉強会)

越谷アリタキ植物園は、市に寄贈された故 有瀧龍雄氏の植物園を整備し、市の植物園として平成22年に開園されたものです。この植物園の成り立ち等について学んだほか、園内の植物の観察を行いました。

日 時:平成28年11月13日(日)10:00～12:00

場 所:越谷市越ヶ谷 2563-1 越谷アリタキ植物園

参加者:24名



市では地域や小学校等を対象に出前授業や環境講演会を開催しております。平成 28 年度は、7 回実施し、579 名が参加しました。

平成 28 年度 環境授業・環境講演会実施内容

実施日	対象者	参加人数	テーマ
5 月 19 日	大袋東小学校 5 年生	108 名	もっといきいきビオトープ 12
6 月 24 日	越ヶ谷小学校 5 年生	106 名	環境政策課の仕事と越谷の自然環境について・未来の地球と私たちの暮らし
7 月 12 日	大袋東小学校 4 年生	100 名	ゴーヤの育て方について
9 月 16 日	大間野小学校 4 年生	93 名	綾瀬川の歴史と環境について
9 月 22 日	ヒマワリこどもエコクラブ	25 名	水質調査について
12 月 6 日	東越谷小学校 5 年生	95 名	越谷の自然環境について・未来の地球と私たちの暮らし
2 月 6 日	北越谷小学校 4 年生	52 名	フジバカマについて

※上記の他、各小学校で実施している生物多様性子ども調査の授業に、市の職員が参加し、環境サポーターと共に学習支援を行っています。（平成 28 年度は 24 回の授業に出席しました。）

1-4 川をめぐる子ども体験バスツアー

越谷市内を流れる川とつながる地域を訪問し、水と自然環境について体験的に学習することを目的に、市内の小学生を対象に「川をめぐる子ども体験バスツアー」を NPO 法人越谷ふるさとプロジェクトと共催で実施しました。平成 28 年度は元荒川の源流部を中心に訪問することとし、熊谷市ムサシミヨ保護センターと荒川大麻生公園を訪ねました。熊谷市ムサシミヨ保護センターでは、ムサシミヨの生態とその保護活動について学び、荒川大麻生公園では、園内の植物等の観察と虫捕りを行いました。

平成 28 年度川をめぐる子ども体験バスツアー実施状況

	日時	場所	参加者
事前説明会・ 学習会	平成 28 年 8 月 17 日(水) 10:00～12:00	越谷市中央市民会館 4 階 第 17・18 会議室	31 名 (保護者含め)
体験バスツアー	平成 28 年 8 月 18 日(木) 8:30～17:15	熊谷市ムサシミヨ保護センター 荒川大麻生公園	21 名



1-5 児童館ヒマワリの環境学習事業

児童館ヒマワリのテーマ「生物と環境」には、子どもたちが人と自然の調和や動植物を慈しみ生命を尊重する心を持ち、科学する心を培っていくという願いが込められています。また、こどもエコクラブ活動の推進により、地球環境を保護するなど、環境形成者としての実践力を育成することをねらいとしています。平成28年度末現在、5クラブ671人が登録を行っています。

ー主な実施事業ー

①科学にひたるひととき in越谷 2016

自然環境、動植物、人体などの研究成果や興味深い事実などに触れることをとおして、自然に関する興味・関心を高めると共に、科学的なものの見方や考え方ができるようにすることをねらいとしています。

テーマ	開催日
聞いてみよう, ならしてみようー音としんどうのひみつ	7月23日(金)

②ヒマワリこども自然塾

野鳥や植物などの自然観察をとおして自然環境の保全意識や、自然を愛する感性豊かな心を育むことをねらいとしています。

	回	月	日	曜	活動内容
春	①	4月	3日	日	蒲生で生きもの発見!(春)
	②	5月	15日	日	プールのヤゴ救出大作戦
夏	③	6月	19日	日	ハウネンエビ・カブトエビ捕獲大作戦
	④	7月	3日	日	昆虫トラップ作戦
	⑤	8月	20日	土	セミのぬけがら集め大会
秋	⑥	9月	4日	日	微生物を観察しよう
	⑦	10月	2日	日	自然体験学習会～でっかいドングリ拾い放題&シラコバト観察
	⑧	11月	6日	日	秋のプールのヤゴとり大作戦
冬	⑨	12月	4日	日	キタミソウ&自然観察会
	⑩	1月	8日	日	自然観察会～ハクチョウに会いに行こう! 多々良沼
	⑪	2月	5日	日	鳥が入る巣箱づくり ※15:00 まで
春	⑫	3月	5日	日	川魚トラップ作戦

③夏休み特別企画展

地球上のあらゆる環境に適応し、生き抜いている昆虫たち。その中でも子どもたちに人気があり、親しみのあるカブトムシ・クワガタムシを中心にチョウ・トンボ等の特別展示(昆虫の世界)を実施し、環境や生物に対する興味・関心を高めることをねらいとしています。

題名	開催期間
夏! いきいき生きもの～昆虫と触れ合おう	7月21日(木)～ 7月31日(日)

④わくわく科学教室

学校では経験できない生物の観察やいろいろな科学実験、自然を生かしたもののづくり等を行いながら、自然や環境も含めた様々なことを学び、科学への興味・関心を高めることをねらいとしています。

回	月	日	曜	内 容
①	4 月	10 日	日	3階のプチトマトでジャムをつくろうⅠ※親子 5 組
②		17 日	日	手のひらに広がる素敵な世界～ラーメンのカップでメダカを飼おう
③		24 日	日	植物で染物に挑戦Ⅰ
④		29 日	金	3階のプチトマトでジャムをつくろうⅡ※親子 5 組
⑤	5 月	1 日	日	ペットボトルでセントポーリアを育てよう(仮)
⑥		8 日	日	楽しい海の生きものたちⅠ※5 歳以上
⑦		29 日	日	生物標本でアクセサリーをつくろう(封入標本)
⑧	6 月	12 日	日	ヤマモモをとってジャムをつくろうⅠ※親子 5 組
⑨		26 日	日	ホタル鑑賞会 ※エコクラブ合同 19:00～
⑩	7 月	10 日	日	ヤマモモをとってジャムをつくろうⅡ※親子 5 組
⑪		17 日	日	チリメンモンスターを探せ！ ※定員 10 名
⑫		18 日	月	ミニミニビオトープをつくろう ※親子 12 組
⑬		24 日	日	カブトムシ標本づくりに挑戦Ⅰ(2 回講座) ※定員 10 名
⑭		31 日	日	いい声で鳴かそう！スズムシ教室
⑮	8 月	21 日	日	化石のレプリカをつくろう
⑯		28 日	日	カブトムシ標本づくりに挑戦Ⅱ(2 回講座) ※定員 10 名
⑰	9 月	11 日	日	ペットボトルでエコスフィアをつくろう
⑱		18 日	日	びっくり！すてきな切り絵に挑戦！
⑲		25 日	日	楽しい海の生きものたちⅡ※5 歳以上
⑳	10 月	9 日	日	牛乳パックのリサイクル～いろいろな小物づくり～
㉑		23 日	日	植物で染物に挑戦Ⅱ
㉒		30 日	日	アクアリウムで素敵なインテリア
㉓	11 月	13 日	日	秋の野草でリースづくり
㉔		20 日	日	楽しい海の生きものたちⅢ※5 歳以上
㉕	12 月	18 日	日	すてきなクリスマスキャンドルをつくろう ※親子 12 組
㉖	1 月	15 日	日	チリメンモンスターを探せ！ ※定員 10 名
㉗		22 日	日	ペットボトルが顕微鏡に大変身！
㉘		29 日	日	楽しい菌類
㉙	2 月	12 日	日	恐竜の骨格標本をつくろう
㉚		19 日	日	野菜の切れはしを育ててみよう
㉛		26 日	日	水質汚染の謎をとく！私も出来る水質分析
㉜	3 月	12 日	日	楽しい海の生きものたちⅣ※5 歳以上
㉝		19 日	日	ポップコーン！に挑戦

⑤こどもエコバザール

おもちゃ、文房具、本などのこども版不用品交換市。

自分が不用となったものを持ち寄って交換することにより、子どもに物を大切にする事の大切さや楽しさを実感させることをねらいとしています。 開催日:11 月 27 日(日)

⑥ヒマワリこどもエコクラブ

米作りを通し、健康・水・生物などの関わりから環境について考え、一人ひとりの環境保全に対する意識を高める。また、異なる学校のクラブ員相互の交流を図っています、(毎月1回開催)

2. 環境保全活動

2-1 越谷市環境推進市民会議

(ア)組織の概要

越谷市環境推進市民会議は、地球環境の復元能力を超えた人間活動により、私達人間を含めた生物の生存が脅かされている状況を認識し、自然豊かな恵のある地球環境を維持・改善して次世代に受け継いでいくため、市民参加により策定された越谷市環境管理計画に基づいて、市民・事業者の各主体が行う環境保全活動の事業を支援していくことを目的として、平成13年に設立された市民団体です。会長以下役員が置かれ、3つの委員会を中心に活動が行われています。平成28年度末現在、団体会員38事業所、個人会員36名が参加をしています。

(委員会の名称と活動内容)

- 総務広報委員会:越谷市環境大会、勉強会、エコウィークなどの総合企画、エコニュースの編集発行
- 自然環境委員会:こしがや緑のオアシスの調査・推薦、市内の自然環境調査
- 普及事業委員会:エコ事業所宣言・環境ファミリー宣言・緑のカーテンの普及啓発活動、会員の募集

(イ)越谷市環境大会

越谷市環境大会は、越谷市環境推進市民会議と越谷市が、「市民・事業者の各主体が行う環境保全活動の事業を支援していく」ため、市民の皆さんや、事業所、関係機関などに参加を呼びかけ、毎年開催をしています。平成28年度は、第13回として“越谷の「みどり」を守り育てるために”をテーマに、「こしがや緑のオアシス認定式」や緑の普及に携わる市民団体・事業者の活動報告や緑の管理方法についての講演を通して、よりよい環境づくりや環境の取組の活性化を目指しました。

日 時:平成29年2月19日(日)13:00～17:00

会 場:越谷市中央市民会館5階 第4～6会議室

参加者:97名



こしがや緑のオアシス認定式

- 弥栄小学校児童や認定者への認定証及び認定プレートの贈呈、事例発表
- 認定者からのアンケート結果報告

事例発表等

- 講演:「病虫害を予防する緑の管理」埼玉県花と緑の振興センター
- 事例発表:大森機械工業株式会社・四季の里運営協議会・越谷梅林公園ボランティアの会・屋敷林所有者

(ウ)ECO 勉強会

越谷環境管理計画に基づく施策の実現に向け、市民、事業者、環境活動団体、教育機関などとのつながり(連携)を深め、定期的に情報交換・意見交換などを行う機会として、平成25年度より開催しています。平成28年度は3回のECO勉強会を開催しました。

平成28年度ECO勉強会実施状況

月日	回(通算)	勉強会名	参加人数
8月7日	第13回	新方川の魚を調べてみよう!	37名
11月13日	第14回	樹木を観て、秋を学ぶ 於:越谷アリタキ植物園	24名
12月7日	第15回	越谷市環境管理計画について学ぼう!!	10名

2-2 こしがや環境サポーター

市民や団体、教育機関等における環境配慮活動等への協力、支援を進めながら地域における自然環境保全、普及啓発活動を幅広く推進していくため、越谷市では、登録制による「こしがや環境サポーター」制度を平成27年度から開始しました。サポーターとして登録された方は、地域や学校などの求めに応じ、環境イベントへの協力や、学校の環境学習への支援を行っています。

○平成28年度末現在登録数：市民サポーター62名、学生サポーター19名

平成28年度活動内容

活動名称	内容	実施日	参加者
出前授業	大袋東小学校にてビオトープについての講義	5月19日	4名
フジバカマ保護活動	フジバカマ公園・南荻島さくら公園の除草、フジバカマの観察	6月2日	12名
コシガヤホシクサ野生復帰事業	栽培個体の植替え作業	7月5日	4名
オオオナモミ除去活動	葛西用水でのオオオナモミ除草と清掃、キタミソウの観察、コシガヤホシクサ野生復帰取説明等	10月1日	8名
こしがや子どもトンボサミット	イベント運営協力	10月28日	6名
コシガヤホシクサ野生復帰事業	栽培個体の種子採取作業	11月30日	5名
カラス集団ねぐら個体数調査	久伊豆神社周辺のカラスの集団ねぐら個体数調査	12月10日	15名
出前授業	北越谷小学校にてフジバカマの切り落としとポプリ作り	2月6日	2名
キタミソウ観察会	葛西用水での清掃とキタミソウの観察	2月18日	9名
コシガヤホシクサ野生復帰事業	培土設置、播種作業	2月27日	3名
環境サポーター交流会	年度事業報告と次年度事業計画説明、研修(久伊豆神社のカラス)等	3月29日	29名
越谷生物多様性子ども調査支援	トンボ調査学習支援など	通年	—



活動の様子(左上：出前授業(大袋東小)・右上：オナモミ除去、左下：カラス個体数調査、右下：コシガヤホシクサ播種)